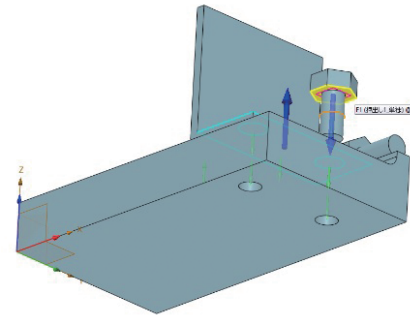
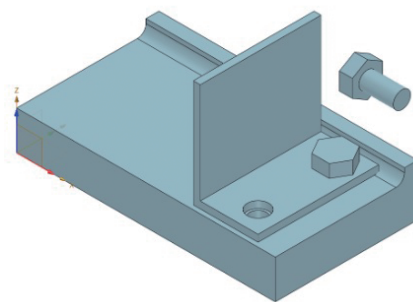


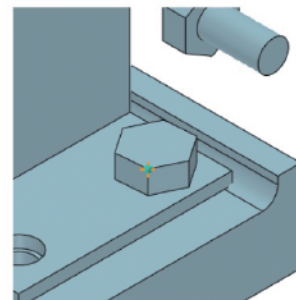
30. ピンの座面とブラケットの上面をクリックします。



32. 穴にピンが挿入されました。



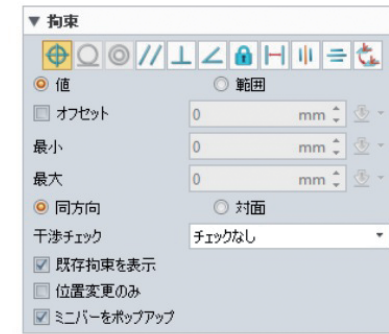
34. ピンの頂点か辺をドラッグしてみます。マウスを動かすとピンが回転することが分かります。



36. [アセンブリ]-[拘束]をクリックします。



31. 一致が選択されているのを確認し、マネージャのOKをクリックします。



33. マネージャの[アセンブリ管理]のパーツ名を確認すると( )が付いていますので不完全な拘束という事が分かります。

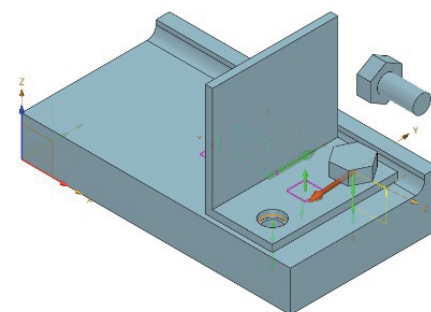


35. マネージャの[アセンブリ管理]のパーツ名を右クリック[外部データムを表示]を選択します。子部品の座標系が表示されます。合わせてブラケットも座標系を表示させます。

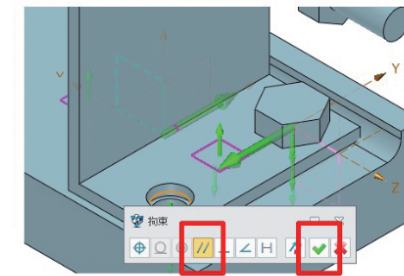


※非表示にするにはパーツ名を右クリック [外部データムを非表示]を選択します。

37. ピンとブラケットそれぞれの平面(穴の軸と一致する平面)をクリックします。



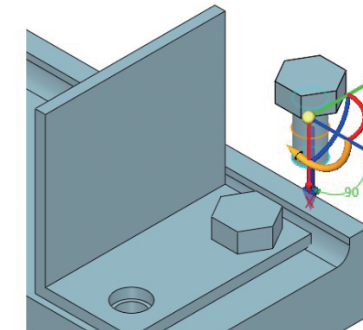
38. [拘束]ウィンドウの[平行]をクリックします。[拘束]ウィンドウのOKをクリックします。マネージャのOKをクリックします。



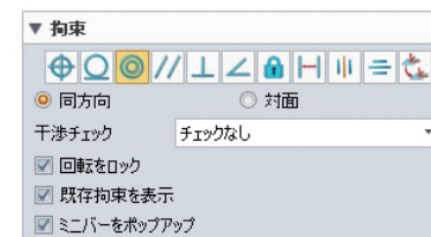
40. [アセンブリ]-[拘束]をクリックします。



42. 必要に応じてグラフィックウィンドウでトライアドをドラッグしてパーツの向きを左図に合わせます。



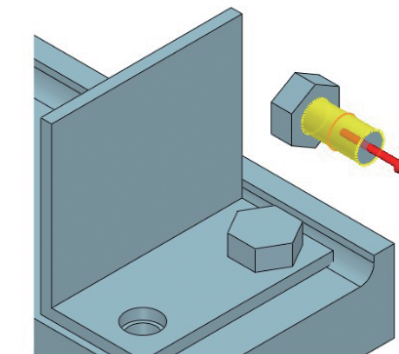
44. 同心が選択されているのを確認します。[回転をロック]をONにします。マネージャのOKをクリックします。



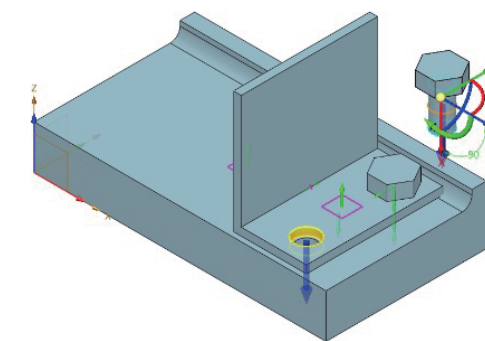
39. マネージャの[アセンブリ管理]のパーツ名を確認すると( )が消えていますので完全な拘束という事が分かります。



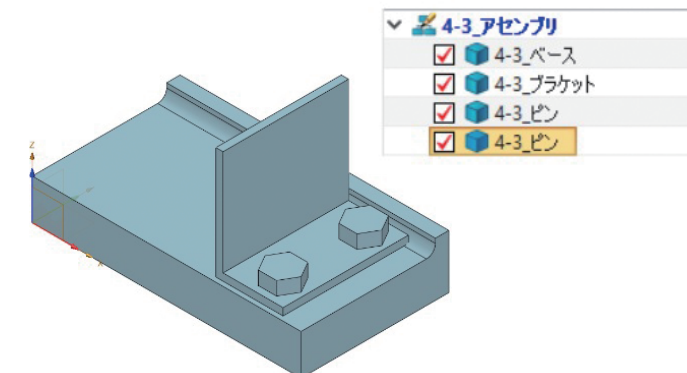
41. ピンの円筒面をクリックします。



43. ブラケットの手前側の穴面をクリックします。



45. ピンが追加されました。マネージャの[アセンブリ管理]のパーツ名を確認すると完全な拘束という事が分かります。アセンブリを保存します。



※単体で同心拘束を使用する場合は[回転をロック]オプションを使用することで不要な拘束を作成する手間を省けます。